

会報 マリアン

発行 ノートルダム女子大学同窓会

卒業生の皆様へ

学長 シスターメリーマイクル田代



卒業生の皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。昨年十二月十三日にマリアンハウスも無事竣工し、皆様のおよこびも一しおと存じます。毎年私はこの会報マリアンを通して皆様の母校の主な出来事をお知らせしてまいりましたが、今回は先ず学長交替のことをお知らせしたいと存じます。

平成五年四月一日付けで、水越治先生がノートルダム女子大学第三代学長にご就任になります。水越新学長先生は昭和二十三年に京都府立医科大学をご卒業後、引き続き大学に勤務され、昭和五十四年同大学の学長に就任、九年間在職のち停年退職、昭和六

十三年明治鍼灸大学学長に就任され、平成四年に退職されました。ちなみに水越新学長先生は、第十四期西別府満喜子さん、第十八期奥和加子さんのお父上でもいらっしゃいます。

何故ノートルダム大学のシスターが学長に就任しなかったのだらうと思われる卒業生の方たちも多数おありかと存じます。近年ノートルダム教育修道女会におきましては、一人のシスターがあまり長期にわたって学校長等の地位に留まらないようにという方針がありまして、ノートルダム女子大学の学長職につきましてもかなり以前から交替が懸案となっており、シスターの中から適任者を模索していただきました。しかし、適任者が得られませんでしたので、修道女会、理事会でこの際思い切つて水越先生にお願いしようということになり、大学の教授

会の諒承を得て、水越治先生が新学長に就任なさることが決定されたのであります。水

越新学長先生はご経歴からも容易にご想像いただけるように非常に高等教育に豊かな経験をお持ちであり、又、ノートルダム大学の建学の精神を忠実に守って、激動の時代の中にあってもノートルダム女子大学をより充実したすばらしい大学にしようと決意して下さいておられます。どうか卒業生の皆様も、新学長を心から信頼申し上げ協力して、よりよいノートルダムをつくりあげて下さいますようお願いいたします。

又、私の学長在職中、卒業生の皆様からいただきましたご芳情ご協力の数々にこの場を借りまして厚く御礼申し上げます。私はしばらく仕事を休ませていただき、アメリカで刷新、研修に励みたいと考えております。勿論出来るだけ早く帰国し、大学や卒業生の皆さまともども新しい学長にご協力したく思っております。はじめのお知らせが長くなつてしまいましたが、もう一つビッグニュースをお知らせ

いたします。それは母校にいいよ体育館が新設されることとであります。

体育館建設は初代学長シスターメリーユージニアご在職中からの懸案でありまして、その当時から、体育館用地を求め等、このためにたくさん努力を重ねてまいりました。キャンパスに緑地を少しでも多く残したいと考え大学の近辺を中心にいろいろ探し求めましたが、皆様もご記憶のように近年土地の価格が異常に上昇してしまいましたので、キャンパス外に体育館を……という夢はついに断念し、図書館棟の西側の空地に、体育館が建設される運びとなりました。紙面の関係で詳細は省略いたしますが、平成五年五月頃から着工、平成六年六月末竣工の予定であります。どうぞ楽しみにしていらっしゃって下さい。たまたま平成六年は、京都府平安建都千二百年をお祝いする年に当たるようで慶事が重なりますね。では皆様の上に神の祝福と聖母マリアのご保護がいつもありますように心からお祈りしてご挨拶いたします。

「マリアンハウス」完成

中 島 克 子
(長谷川 一期生)

昨年のマリアン紙上では、同窓会ハウスの設計予定図と募金の計画等をお知らせいたしました。その後、大旨順調に運び、昨年九月末に建物が完成し、引続き、外構工事、内部設備共に、無事終了致しました。又、建物の名称は機関紙「マリアン」に因んで「マリアンハウス」と決められました。十二月十三日に、オダノヒュー神父様(本学教授)による建物祝別の後、関係者約百名が集まり落成式が行われました。

設立委員会発足より約二年足らずで完成に到りましたのは、ひとえに皆様方の御協力の賜物と感謝の気持ち一杯でございます。無償で土地を貸与して下さいました大学側をはじめ、快く募金に応じて下さいました皆様方に心から御礼申し上げます。ありがとうございます。

尚、寄付金の報告に関して一言申し上げておきますと、

同窓生個人の御寄付につきましては、御芳名のみを記し、金額はあえて公表致しておりません。これは、各学年代表の募金委員の方々に集っていただいて決定した事で、額の多少にかかわらず、御協力して下さいましたお心に感謝したいとの意向によりますので何卒御了承下さいませ。内部記録にはお名前と金額を残させていたいております。同窓生個人としての寄付以外は御芳名、金額共に公表させていただきますました。皆様の御寛大な御協力に深く感謝いたします。

今回設立に関与させていただき、とくに心に残ったことは、ノートルダム精神で結ばれた「和の心」の強さでした。直接建設にたずさわった八名の委員は、時には喧々諤々の意見を戦かわせ乍らも心を合わせて、それぞれ最大限の努力を致しました。又それに全面的に協力して下さいました

同窓会本部役員の方々や募金委員の方々、募金に応じていただいた皆様方の一致団結した心がこのマリアンハウスを完成させたのだと思います。そういう意味で、このハウスは、単なる建物とは違い、同窓生の愛校心の結晶という付加価値がついているので、一層立派なのだと思っております。今後、末長くこのマリアンハウスが皆様の友情を育む場として活用されますようにと願っております。

最後になりましたが二年間共に働いた設立委員から一言づつ感想を述べさせていただきます。御報告と感謝の挨拶にさせていただきます。

所 明 子
(荒川 一期生)

同窓会ハウス完成はノートルダム女子大学の御厚志と、卒業生の母校愛とNDスピリットの結集によって実現いたしました。今後はこのハウスが同窓会諸活動の拠点として有効利用され、母校との交流、卒業生間の懇親の場、地域社会との接点となることを心より願っております。

久萬田 澄子
(沢田 一期生)

約半世紀をしたたか(?)に生きてきた設立委員八名が、今までの経験と知恵を持ち寄り、各々の夢と希望も少しずつ織り込ませて頂きながら、限られた予算の中でいかにノートルダムらしい建物を建てるかという事で努力して参りました。その結果、小さいながらも、まず満足のいくものが出来上ったと喜んでおります。

西 村 京子
(山仲 一期生)

長い間、待ちに待ったマリアンハウスが、大勢の皆様の御協力で、第一歩をふみだしました。特に大学からの土地の提供、高山先生の手づくりステンドグラス、募金に協力して下さい下さった皆様、色々教えられる事、多々ございました。今後マリアンハウスが、生き生きと活動し発展しますように。

山 本 秀子
(石岡 一期生)

ステンドグラスの入ったすてきな同窓会ハウスが出来上りました。いかにもノートル

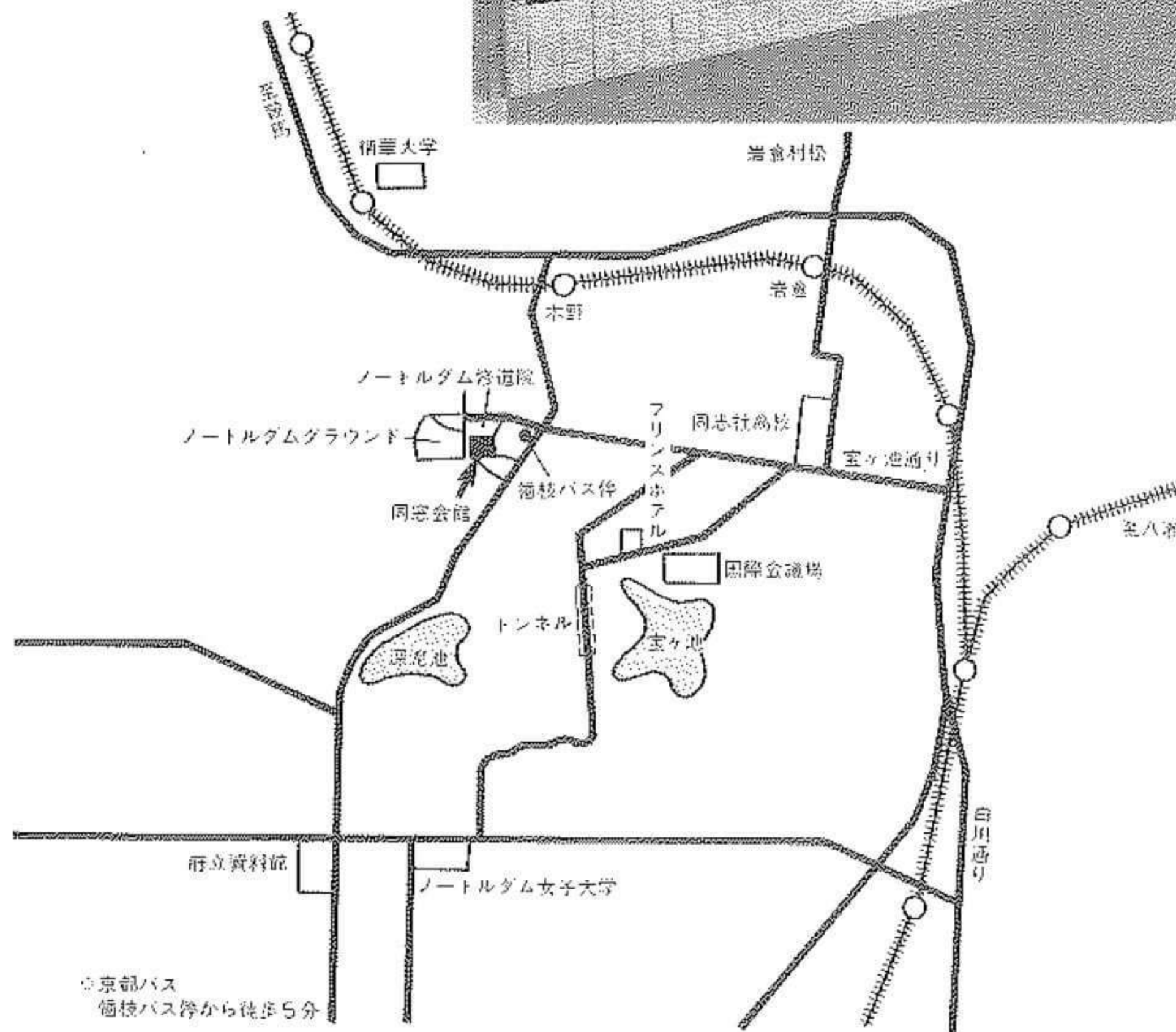
ダムらしく、落ち着いたムードで、満足感で一ぱいです。これからは、いかに上手に利用し、運営していくか大きな課題になります。運営委員の方々の苦勞が続きますが、どうぞよろしくお願い致します。

白 井 君子
(高田 一期生)

卒業生の長年の夢であった、同窓会ハウスがついに実現し、誇りに思っています。卒業生一人一人と、大学及び沢山の方達の協力が、大きな実を結びました。マリアンハウスが、多くの人達に愛され、色々な活動の場として、発展する事を願っています。

林 満智子
(寺田 三期生)

待望のマリアンハウスの完成に深い深い感動に包まれています。これからはハウスを憩いの場としてノートルダムファミリーの輪が大きく広がっていくことを願っています。静かな緑に囲まれて、暖かい炉辺での明るい会話と笑聲がもう聞こえてくるようです。



高山 敦子
(和泉 四期生)

ノートルダム女子大学マリアンハウスが皆様の御尽力のおかげで完成いたしました。遂にやったといううれしい気持ちと終了した寂しさと複雑な気持ちです。同窓会は卒業生のあたたかいホームなのです。そのお手伝いが出来ましたこと、本当にしあわせでございました。これからも微力ながら同窓会のために、というよりは私のためにホームの灯を明るく照らしつつけるお手伝いをさせて下さい。

マリアンハウス

運営について

平成四年十二月十三日に落成式を終え、五年一月よりハウスの運営活動を始めました。整備に意外と時間がかかりましたが、まずは役員会に使用し、序々に備品を購入する予定です。会員の皆様には、クラス活動の場として御利用いただきます。お友達との会合や、宿泊などに関しましては、計画でございます。充実した使用方法を検討中でございます。

マリアンハウス会計中間報告 (1993年1月31日現在)

収 入		支 出	
同窓会より	50,000,000	三井ホーム	52,921,368
受取利息	3,237,852	外溝代	7,667,809
寄付金	14,060,500	基礎工事代	936,605
〔卒業生	10,050,000〕	印刷代	130,913
特別寄付者	4,010,000	結団式	68,144
		表札	62,521
		保険代	97,000
		備品代	21,010
		郵便振込み手数料	81,426
		雑費	132,519
合 計	67,298,352	合 計	62,119,426
残 金	5,178,926	※これから家具、備品、電気製品、警備保障代、支払い予定	

ますが、次年度以降になろうかと思しますので御了承下さい。御希望、御質問がありましたら、同封のハガキにお書き下さい。御協力よろしくおねがいいたします。

連絡先 中島克子

マリアンハウス事務局は月・水・金、午前十時から午後三時迄開いております。

ごあいさつ

会長 高山 敦子
(和泉 四期生)

二度目の会長職を終えるに際して、思うがままの気持ちを述べさせていただきます。つたないリーダーでありましたが、リーダーたる者は常に言葉と行動の間に首尾一貫した他への模範を示し、前向きに組織の未来をしっかりと方へ導いていく力が必要であると痛感いたしております。

他者を勇気づけ、伸ばすためには、人によってやり方が違うという事を理解し、迷いが生じた時にも言葉より行動を信じる事が大切です。私達卒業生(会員)は一人一人がリーダーとなり組織が出来ているのです。一人の価値観をグループの目標のためのチーム価値観に変えていかねばなりません。組織は目標なしには存在しません。目標は行動なしには果たされません。行動は選択なしには起こせません。選択は価値観なしには成されません。

マリアンハウス完成のため

チューリップによせて

顧問 シスターセリオン 松本

に皆様御尽力下さいました。ありがとうございます。この前向きの姿勢、個人的価値観とチームの価値観が一致した時にそこに莫大なエネルギーが生まれました。皆様のこれから同窓会のためのチー

ム価値観こそが組織の活力のジャンプ台となってくれるのです。

TOMORROW
DEPENDS ON YOU!

会長職を辞するに際し、各方面の皆様への感謝の気持ちと共に、これからも同窓会のために微力ながらお手伝いさせていただきます。ありがとうございました。

ホワイト・クリスマス・イブにまつ赤な若々しいチューリップをいただいた。「綺麗でしょ。活けて頂戴」とあどけなく微笑みかけている。私は茎をきゅつきゅと擦り合わせている十本の仲間を一束にして無造作に花器に入れた。チューリップは自分で主役を演じるので形よく活ける必要がない。翌朝、ブラインドで暗くしておいた部屋を覗くと直立不動で固く花弁を閉じていた。眠っていたのだろうか、部屋を明るくしたとたんに体

を震わせた。生きている！じつと見守っていると肉眼に動きは映らないが、花は開いていく。日中何回か私の注意をひき、首をかしげたり伸ばしたり個性を見せながら我が儘にふるまっている。昼間は陽ざしにあこがれ右に左に自由なポーズをして踊り、夜になると身仕舞いを正して眠る。二週間、私の生活に自然な若さと潤いを添えてくれた。やがて花びらの先が萎び始めた。老いが訪れたのだ。変化は案外早い。花弁は縮れて

乾燥し始めた。明暗に対する反応も鈍くなった。それでも、茎は深紅の細身になった花弁を放すまいと直立の姿勢を続け、瞼としていた。私は芯の強さに感心した。散って欲しくない。枯れた花を十日も卓上に置いてと人は言うかもしれないが、生の力がいつまで続くのか見届けたかった。

その後三日経って、遂に首を垂れ始めた。だんだん深く、花弁をつけたまま天寿を全うしたかのように。それは枯淡の美しさだった。私に生き様を見せてくれたチューリップ。生を享受し、ありのままに生きるとはチューリップのこの自然な姿にあるのかもしれない。

総会へのご案内

同窓会の皆様、今年も同窓会総会へ左記の通り、ご案内させていただきます。
日時 五月十六日(日)

十一時～三時(時間厳守)
場所 宝ヶ池プリンスホテル
ゲスト 坂下日出美(十二期卒)
会費 大人 七千円
子供 千円

今年は十二期の担当です。出し物として、十二期生の坂下さん(旧姓・赤木)とピーターパン企画のメンバーによる三味線語りと一人芝居を披露して頂くことになりました。おいしいフランス料理や楽しいお喋りを一人でも多くの同窓生の皆様と満喫出来ます様多数の御出席をお待ちしています。
十二期一同

祝御入会

本年度は、英語英文学科二五一名、生活文化学科八〇名が三月十一日に御卒業になり、同時に第二十九期の同窓会員となられました。御入会を歓迎いたします。

これで同窓会員数は、六、四八〇名となりました。
本年度二十九期の学年委員は次の方にお願ひします。
英語英文学科
西浦 広子・葭田 奏子
生活文化学科
西垣まどか

平成三年度 会計報告

自 平成三年四月一日
至 平成四年三月三十一日

支 出			収 入	
科 目	予 算 額	決 算 額	科 目	決 算 額
総会費用	600,000	509,829	前年度繰越金	72,895,700
マリアンスカラシップ	87,000	443,540	終身会費	4,270,000
卒業記念費	350,000	330,456	資産運用利益	3,539,051
通信費	600,000	589,320	スカラシップ返済金	624,000
印刷費	1,300,000	1,077,252	名簿代金	16,980
中部支部活動費	150,000	150,000		
関東支部活動費	150,000	150,000		
文具消耗費	50,000	11,619		
交通費	150,000	74,210		
クラスアクティビティー	450,000	355,000		
慶弔費	100,000	470,000		
会議費	300,000	312,249		
雑費	150,000	107,026		
同窓会館設立費用	50,000,000	26,560,000		
次年度繰越金		50,205,230		
合 計		81,345,731	合 計	81,345,731

平成四年度

活動報告

五月

○各種文化教養クラス春期開始 (四月より)

○総会準備打ち合わせ

○総会

○支部会との役員会開催

○ボランティア活動開始

○次期同窓会会長候補者公募開始

○同窓会館建設のための募金活動開始

六月

○学年委員懇親会

○名簿整理

九月

○各種文化教養クラス秋期開始

○次期同窓会会長候補者公募

○切

○同窓会館暫定運営委員会発足

十一月

○大学祭バザー参加

○中部支部会出席

○マリアンスカラシップ貸与

○同窓会本部事務局の移転

十二月

○阿部幸子先生 (旧姓大野) 告別式参列

○同窓会館竣工落成式

○「マリアン」原稿依頼

一月

○各種文化教養クラス冬期開始

○名簿整理

二月

○「マリアン」二十三号編集開始

三月

○新入会員への説明会

○平成四年度会計報告書作成

○平成五年度予算案作成

○第二十九回卒業式参列

四月

○「マリアン」二十三号等発送

○同窓会本部新役員への引継

○総会準備

○尚、同窓会館マリアンハウスの建設のための募金活動については、五月底迄継続。

役員会だより

○新役員の改選について

左記の役員は今年度をもって退く事になりました。

会 長 高山 敦子 (和泉4)

副会長 林 満智子 (寺田3)

会 計 西村 晶子 (西村5)

書 記 小野 佳子 (谷出6)

庶 務 小永井宏子 (田中4)

伊吹 佳子 (松本5)

林寺真智子 (浮田5)

山村美佐子 (平松5)

坂井 陽子 (安達6)

人長久巳子 (東7)

新役員候補者は次の方たちです。同封の葉書の信任・不信任のどちらかに○をおつけ下さい。

新役員候補

会 長 磯野 高子 (川田2)

副会長 辻 百合子 (岩越2)

会 計 家村 悦子 (上登野4)

書 記 下水木淑子 (森橋4)

会 計 西村 寛子 (大島11)

会計監査 垣田加代子 (瀬川6)

荒瀬 忠子 (藤野4)

小 林 和美 (釜倉10)

庶 務 柿谷 初子 (赤井6)

小 笹 依子 (島津6)

枝川美千代 (中村8)

古川 澄子 (古川8)

運営委員 中島 克子 (長谷川1)

(同窓会館の運営のために運営委員会を設置いたしました。)

○平成四年度のマリアン・スカラシップ貸与者は一名と決定致しましたので、御報告申し上げます。

○同窓生の住所等のお問い合わせは、同窓会館宛、葉書か手紙でお願いします。大学へのお電話でのお問い合わせはご遠慮下さい。

〒606 京都市左京区岩倉幡枝町三八

ノートルダム女子大学

同窓会 マリアンハウス

同窓会各種講習会ご案内

文化教養クラスを同窓会が主催するようになって以来、英語関係のクラスを中心に、過去にはアートフラワー、コーラス、食べ歩き等もありました。

同窓会館がオープンしましたので、フランス語などの新しいクラスの開設を計画中です。皆様のご意見、ご希望をお聞かせ下さい。総会出欠の返信用葉書にお書き下さるなり、中島克子までご連絡をいただくなり、どうぞよろしくお願い致します。

課目	講師	内 容	日 時・場 所	申し込み先
書 道	寺田 九絲	書道具持参	マリアンハウス 第一・第三水曜日 五月十九日開始 午前十時半～十二時	林 満智子
文学講読	シスター モリブリンカー	文学作品についての講義と内容についての討論 (英語で行われます。)	マリアンハウス 第二・第四火曜日 五月十一日開始 午前十時四十五分～十二時十五分	久萬田 澄子
聖 書	シスター セリーン	聖書と女性 聖書の読んだ箇所各人の感想とシスターの解説	マリアンハウス 第三月曜日、五月十七日開始 午前十時半～十二時	池 渕 律子
英文雑誌の講読	シスター セリーン	インターセクト・タイム誌などによる現代問題等の英文和訳と内容についての討論 (日本語で行われます)	名古屋聖心センター (地下鉄市役所前下車) 第二月曜日(祝祭日の場合休み) 午前十時半～十二時半	加 藤 眞理子
英 会 話	シスター メリージョアン	タイトルを決めてのスピーチや、フリーカンバセーション、能力に係なく楽しく勉強できます。	マリアンハウス 四月二十一日開始、五月二十日、六月三日、十七日、七月一日、十五日 午前十時半～十二時	榊 原 糸
ボランティア活動	手芸品製作(売り上げ金はインドネパールへ)		マリアンハウス 第三金曜日 午前十時～午後二時	辻 美智子

○ 各クラス受講料は学期毎に500円(書道は他に1回500円の実費)。

○ お申し込み、くわしい日時・場所その他ご質問は各責任者になさって下さい。

関東支部だより

塚脇 明 美
(小 塚 八期生)

昨年四月、七期生より引き継ぎ、二年間お世話をさせて頂くことになりました。今年の支部会は、左記のように決まりましたので、お知らせ致します。「ラベルエポック」は、近くに大使館などが並び大変眺めの良いレストランです。皆様ぜひ御参加下さい。

○平成五年十一月二十一日(日)

十二時～十五時

ホテル オークラ

「ラベルエポック」

別館十二階

会費 一万円

入会希望の方、転勤などで退会なさる方は、左記へ御連絡下さい。

支部会費は千円(二年分)

塚脇明美

中部支部だより

細野 陽 子
(関 八期生)

昨年十一月十二日、料亭賀城園にて同窓会、中部支部総会を開催致しました。学長様、シスターメリーセリン、シスターメリアンの御臨席を仰ぎ、本部から高山会長、小永井様が御参加下さいました。学生時代に戻り、楽しい語らいのひとときを持つことが出来ました。なお支部総会に於て、支部長細野(関)、副支部長田中(田中)、会計水谷(飯田)、書記仙田(河村)、広報大野(小塚)が二年間支部役員を引き継ぐことになりました。前役員の鳥澤様、村松様、山本様、八十様、直江様、水谷様御苦勞様でございました。今後共、宜しくお願い致します。



第三期生

二十五周年を集う

森 口 郁 子
(増野 三期生)

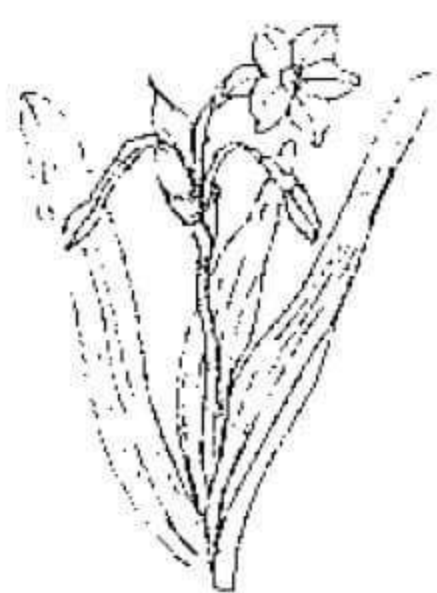
私達三期生は昨年五月十六日に京都ガーデンホテルで同期会を開催しました。卒業後二十五周年という特別な年の集いでもあった為、北は茨城県から南は広島県まで万障繰り合わせて出席して下さいました方々は五十三名にもなりました。大学側からはシスターメリーマイケル、シスターセリン、シスターマルグリットをお迎えして懐かしい友との再会に時のたつのも忘れて語り合いました。髪に白いものが混じり、そろそろ主人と向き合う老後の人生を考えねばならない年令ですが、気持ちだけはまだまだ十代のつもりで私達でした。二年後の再会を約束して、名残りを惜しみながら別れました。皆さん有難うございました。

卒業二十周年

を迎えて

三 島 秀 子
(三島 八期生)

島根の田舎町で家業の手伝いの傍ら、オルガン講師、パッチワーク、ママさんバレー、畑仕事等、忙しくしている毎日です。特に野菜作りは、農薬の恐さを知って以来、私も畑に出かけ、虫取り草取りをして大切に育てていますが、立派な作物に成長する過程を見守るのは実に楽しみなものです。卒業後二十年も経ち、ノートルダム女子大での生活は夢ではなかったかと思う程記憶が希薄になっていた折、昨年初めて同期会の案内状が届き、矢も盾も堪らず京都へ行き、素適な一時を過ごしました。次回にはお互いが更に美しく年を重ね人間として成長した姿で出会いたいものです。



第四期卒業

二十五周年のお誘い

ノートルダム女子大学を卒業してはや二十五年。信じられないほどの時の速さで人生の折返し点を過ぎました。皆様それぞれの卒業後二十五年の歴史を確かめ合うべき記念同窓会を左記の要項で開きたいと存じます。遠方の方、今まで一度も出席されなかった方、皆様一人でも多くの御出席を期待しております。

日時 九月十九日(日)

場所 午前十一時

ノートルダム女子大学

前集合

午後一時「撫庵」にて

会食(中華料理です。)

会費 八千円

(写真代も含めて)

同窓会委員 林 いく子

家村 悦子

林 久美子

尚、詳しい事は、改めまして後日往復葉書にて御連絡させていただきます。



「インドへ友愛の手を！」

シスタージョンシュミッド

いつも「インドへ友愛の手を！」にご尽力を賜わりありがとうございます。お蔭さまでこのプログラムがはじまって十三年経ち、最初に援助を受けた子供たちもずいぶん成長し、就職したり上級学校に進学したりしています。

個人の子供への教育援助の他にも医療や生活面への援助をしてきましたが、昨年は、グジャラト州コウト村の職業訓練学校の工事がはじまりました。完成も間近です。

今年は、特にストリート・チルドレンへの援助に重点をおきたいと思っています。食べる物も家もなく、路上で生活している子供たちに、教育の機会を与えたいと思っています。今のところ、オーブ

ンスクール（行ける時に行つて勉強し、政府の検定試験で学年を認定してもらう。）を造る予定です。皆さま方の暖かいご援助をお願いいたします。

○定期援助（一人の子供）
一年間二万四千円
（毎月二千円）

○定期援助（寮生）
金額は同じですが、寮に入っている子供たちを援助するもの。

○一時援助（一般活動のため）
いつでもおいくらでも結構です。

ネパールから感謝とお願い

シスタードロレス

この一月、ネパール、バンデプールのノートルダム学校は新しい年を迎えました。

昨年は、学校にとって色々な変化がありました。まず皆さまのご協力によって第二校舎が完成したことです。

先に第一校舎が建設されたことはお伝えしましたが、何といつてもゼロからの出発でしたから、教室数の不足だけ

でなく職員室、特別教室など教育効果を発揮するには、十分ではありませんでした。

そこで昨年は、特にそのためにキャンペーンを致しました。そして多くの方の暖かいご理解で、第二校舎が建てられたのです。子供たちも先生たちも、そしてシスターたちも本当に嬉しく感謝の思いで毎日を教育活動に励んでいます。ありがとうございます。

更に、カリタスジャパンの援助で幼稚園の建物、ドイツのミツシオの援助で修道院の建物ができ、どうやら基本的な必要性のための願いが果たされて、今年は三百人を超えた数と上は八年生までの年に達した生徒への教育の充実が大きな課題となるでしょう。お問い合わせは、ノートルダム教育修道女会へ



ピナトウボ火山の被災者に援助を！

シスターアナスタシア

これまでに二度、フィリピンにピナトウボ火山の被災地を訪ねる機会を与えられました。最初の噴火から二年近くになる今も、ラハール（火山泥流）による被害が続いており、昨年八月に訪問した村が今は灰の下に埋まってしまっているという状態です。

家や土地を失った農民たちは難民センターに住んでいますが、いずれ新しい土地で生活のたて直しをしなければなりません。その困難は大変なものですが、TFA（アジア活動推進機関）というシスターズによる組織の援助活動に御協力下さる方は、左記宛に御送金下さいますようお願い致します。

TFAピナトウボ援助金

おくやみ

左記の方々がお亡くなりになりました。御冥福を心からお祈り申し上げます。

阿部幸子先生（旧姓大野）（元助教）

平成四年十二月八日

篠崎 実様（元財務部長付）

平成四年十二月二十五日

おねがい

毎年、十一月三日の大学祭に参加しております同窓会のバザーは御好評をいただいております。それも皆様方からの御寄贈のお蔭と、厚くお礼申し上げます。本年度も、御寄贈していただけるお品がございましたら、同窓会宛大学の方へご郵送下さい。何れの品物でも結構です。（古着は除く）

ボランティア活動の作品の売り上げ金はインド、ネパールの活動へ寄附し、寄贈品の売り上げ金は同窓会館設備充実の為に使用させていただきますので、御協力をお願い申し上げます。

編集後記

今年度もマリアン二十三号を皆様のお手元にお届けする事が出来、幸せに存じます。今号は同窓会館マリアンハウスの特集号と致しました。原稿をお寄せ下さいました皆様方に心から感謝申し上げます。マリアンについて御意見、御希望がございましたら、いつでもお聞かせ下さい。